

科目	福祉カウンセリング（福）(臨)	単位数	2
担当教員	袴田 俊一		
履修対象	社会福祉学科3年秋学期		
目的	ソーシャルワークにおける面接を中心に、面接を効果的に進めるための心理学的援助手段に関するテーマを取り上げます。		
達成目標	「知識・理解」 (1)ソーシャルワークにおける面接技法について説明できる。 「技能・表現」 (1)本講義で得た面接技法をソーシャルワーク援助・支援活動に活かすことができる。		
授業計画			
1	オリエンテーション：福祉カウンセリングとは？		
2	一般性(共通性)と個別性(独自性) 客観的事実と主観的現実		
3	アセスメントとインターベンション		
4	カウンセリングとケースワーク面接		
5	カウンセリングと心理療法(サイコセラピー)		
6	自己覚知とパーソナリティ		
7	子ども領域における福祉カウンセリング 虐待の問題を中心に		
8	危機介入：生活場面面接と5W1Hの活用		
9	高齢者領域における福祉カウンセリング 回想法やリアリティ・オリエンテーションを中心に		
10	障害受容 ADLからQOLへ		
11	身体障害者領域における福祉カウンセリング ピアカウンセリングを中心に		
12	総合病院における福祉カウンセリング 医療とソーシャルワーク		
13	精神障害者領域における福祉カウンセリング SSTを中心に		
14	多職種間の連携 コンサルテーション・リエゾン		
15	まとめ		
授業形態	講義形式を中心とする。		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
『福祉カウンセリング』	杉本敏夫監修・袴田俊一編	久美出版	2400円
参考書	・久保絃章(ひろあき)『ソーシャルワーク-利用者へのまなざし』相川書房 ・杉本敏夫(訳)『ソーシャルワークとは何か』晃洋書房 ・バイスティック『ケースワークの原則』誠信書房 ・土居健郎『方法としての面接-臨床家のために-』医学書院 ・土居健郎『甘えの構造』弘文堂		
評価方法	平常評価(課題への取り組み姿勢：50点 平常筆記試験：50点)		
留意点			
準備学習	予め、授業計画を参考に疑問点や興味を持った点、さらには関連事項や関連分野などについて、自分なりにどんどん調べておくこと。		
備考			No. SW421033